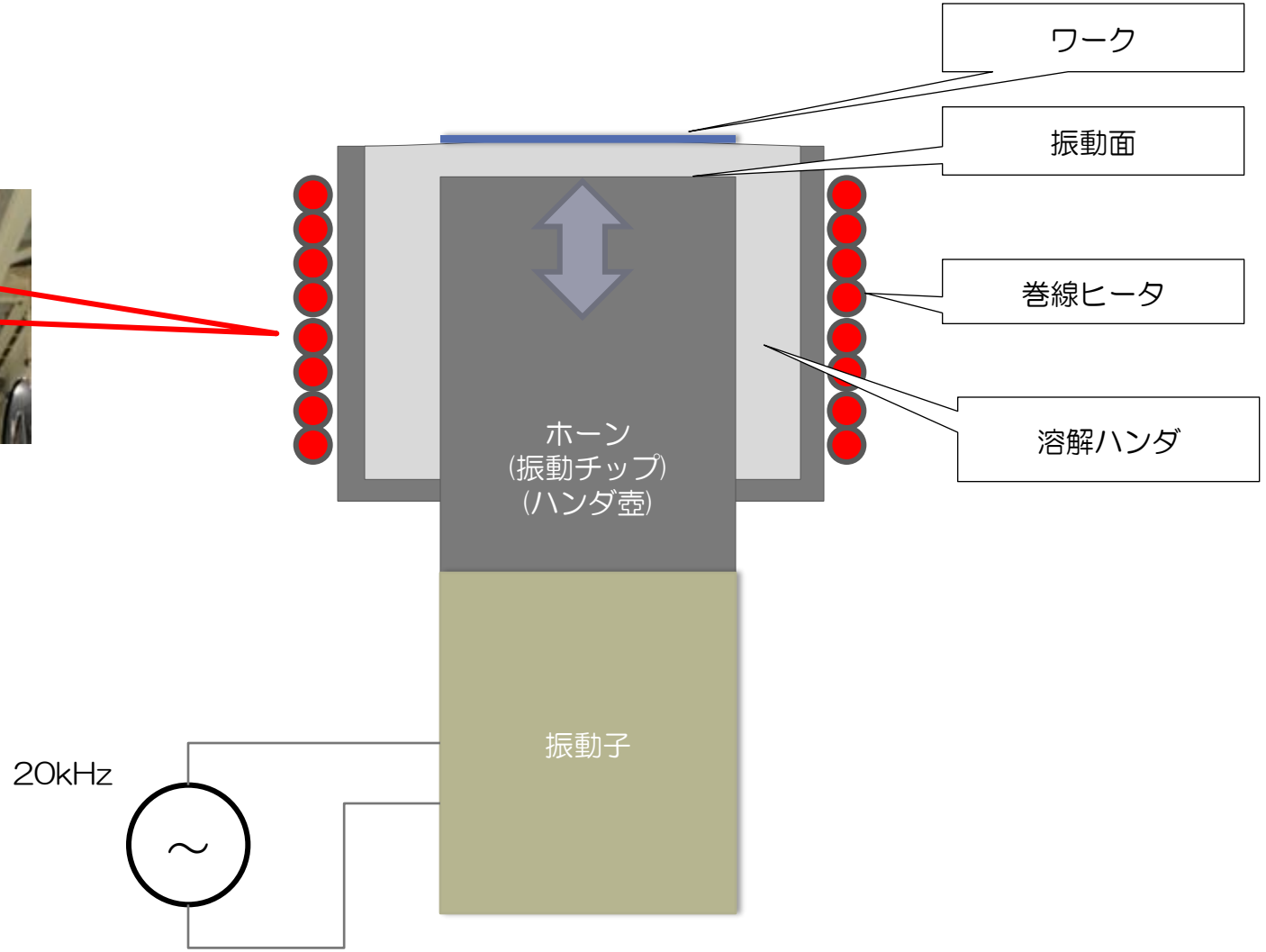
超音波ディップ槽 KDB-200

静止型超音波ディップ槽 KDB-200

項目	KDB-200(AC100V)	KDB-200(AC200V)	備考
電源	AC100V ～110V	AC200V～240V	
温度制御	常温～300℃		
超音波周波数	20kHz		
発振出力	50W～200W		
ハンダ槽作業径	Φ64mm	Φ95mm	
チップ径	Φ40mm	Φ60mm	
本体寸法	370×300×530(H)		写真右側
発振器電源	200×430×305(H)		写真中央
ハンダ容量	約800g	約1,200g	材料支給願います
付属品		降圧トランス 振動子冷却システム	写真左側 裏面から圧空供給
オプション	ヒータ断熱ケース		
	窒素パージ機構		
	指定色(本体のみ)		
保証期間	納入後6か月		消耗品除く
修理対応	原則、一式弊社に送付いただいて対応		現地未対応

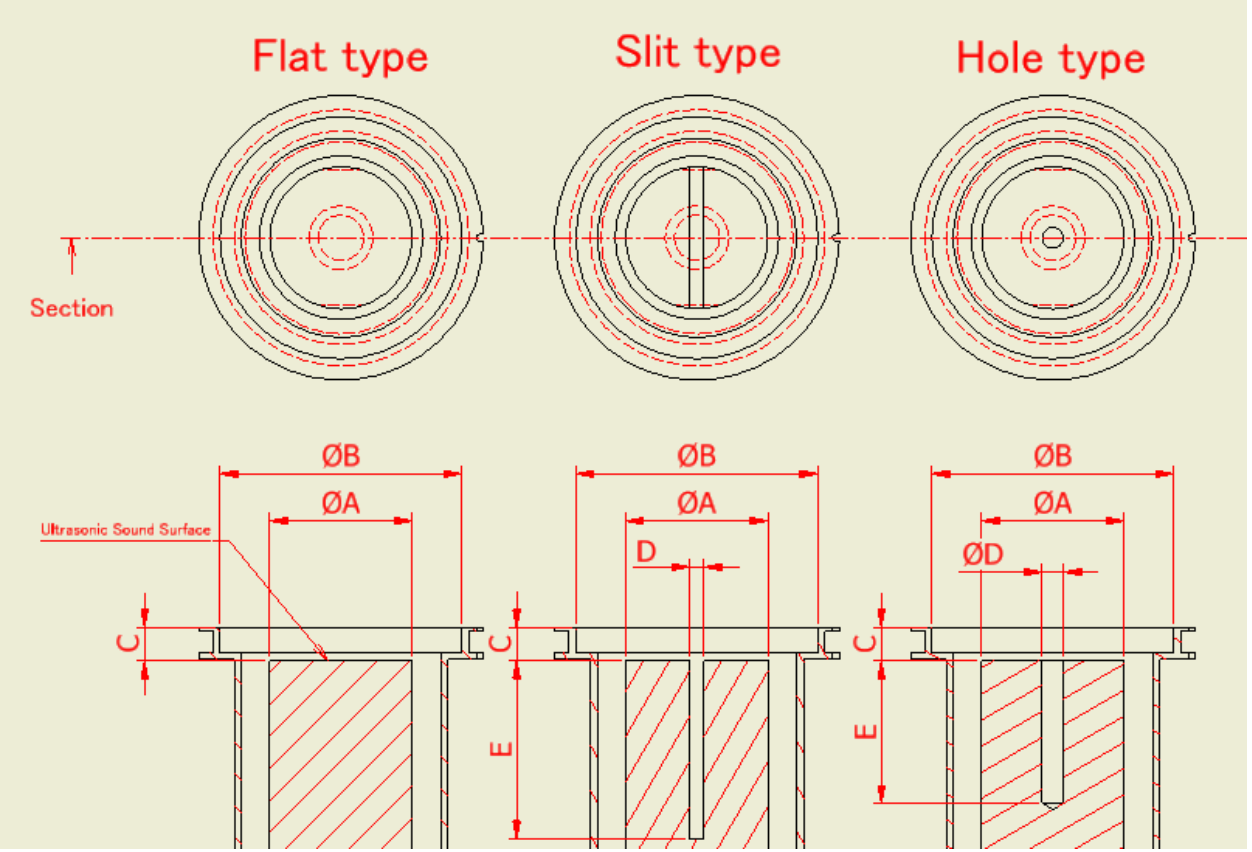
振動部イメージ



超音波ディップ方式のメリット：
- 振幅、出力が大きく、キャビテーション効果が得られる距離(材料と振動面のギャップ)が大きい
- 溶解ハンダで予熱するため、キャビテーションが発生させやすい

超音波ディップ方式のデメリット：
- 選択的ハンダ付けが難しい
- ハンダ交換が大変

ホーン形状（振動チップ形状）



KDB-200(AC100V) Standard

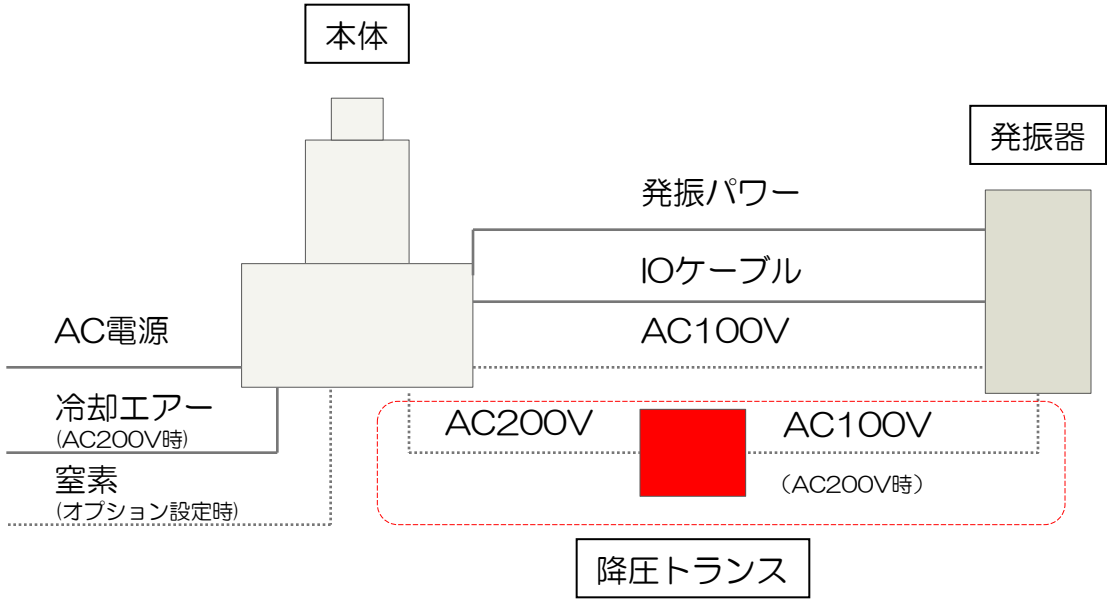
Flat type	Slit type	Hole type
A=40mm		
B=60mm		
C=3mm		
-	D=2.5mm	D=6mm
-	E=50mm	E=40mm

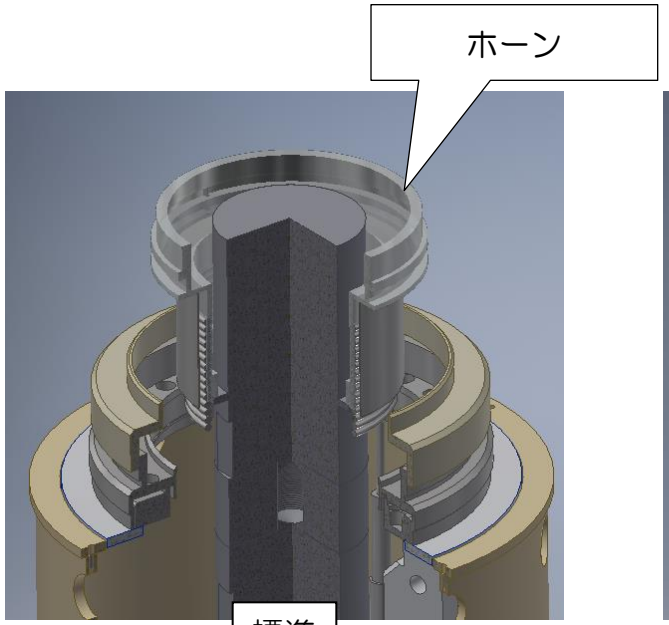
KDB-200(AC200V) Standard

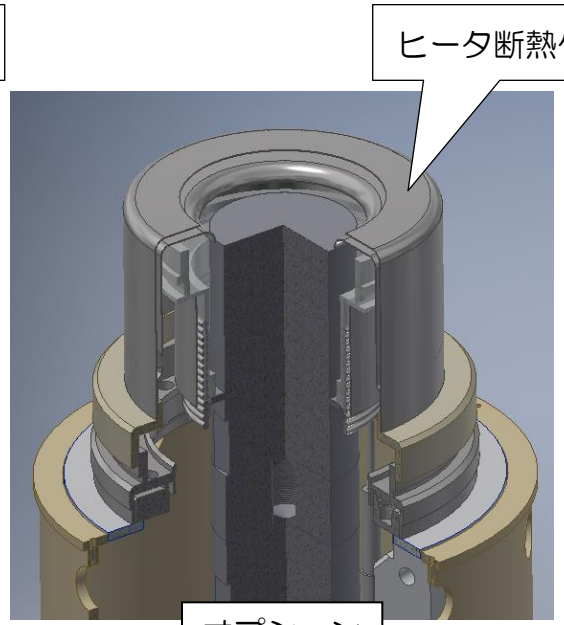
Flat type	Slit type	Hole type
A=60mm		
B=90mm		
C=3mm		
-	D=2.5mm	D=6mm
-	E=50mm	E=40mm

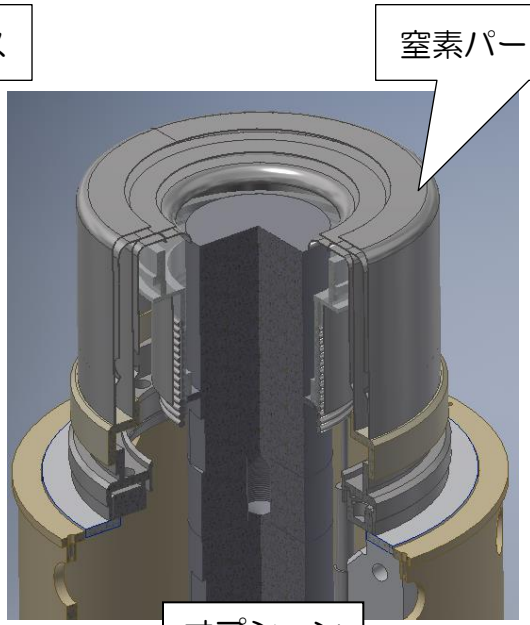
ホーン形状：
- フラット、スリット、ホールの3種類選択可能

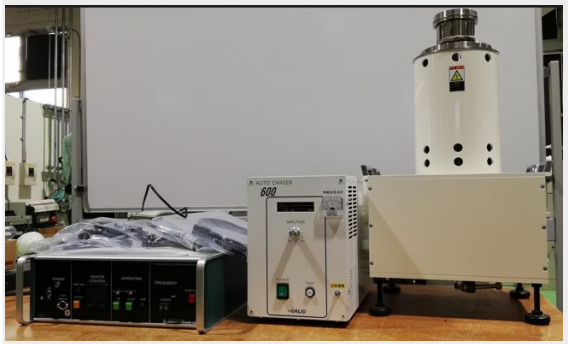
接続およびオプション


本体
発振器
発振パワー
IOケーブル
AC100V
AC電源
冷却エアー
(AC200V時)
窒素
(オプション設定時)
AC200V
AC100V
(AC200V時)
降圧トランス


ホーン
標準


ヒータ断熱ケース
オプション


窒素パージ用キャップ
オプション

旧タイプとの比較

	KDB-100/150	KDB-200
発振出力	20W～100W/150W	50W～200W
入力電圧	AC100V/200V ※ 可変ではなく発振器の仕様による	AC100～120V/AC200～240V ※ AC200V対応は降圧トランス付属
発振器サイズ	W200×D430×H305　12.5kg	W150xD370×H310　8.5kg
構成	本体(ディップ部)+発振器+制御部	本体(ディップ部)+発振器 ※ 制御部は本体内に格納
制御部	PLC+温調器	PLCなし、本体に温調器
インターフェイス	発振SW、窒素SW、FootSW	
表示部	周波数	周波数、発振出力